



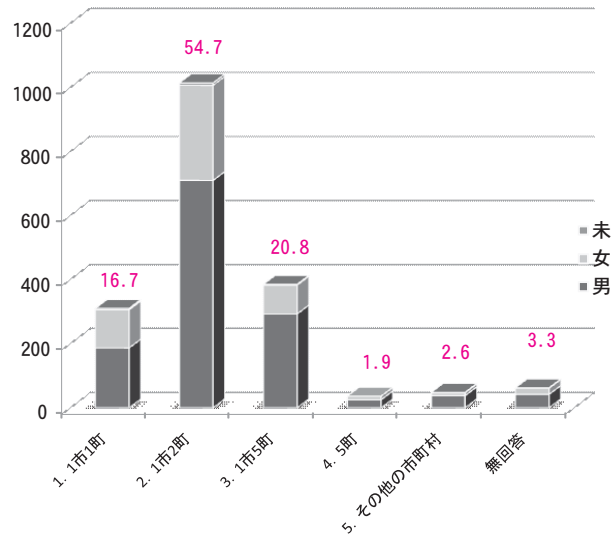
合併希望市町村

Q9. あなたは、板倉町がどの市町と合併するのが望ましいと思いますか？（1つ選択）

【問6で賛成・どちらかといえば賛成に○を付けたかたのみ回答】

「2. 1市2町（板倉町・明和町・館林市）」での合併希望が54.7%と大きな割合を占め、続いて「3. 1市5町（邑楽郡・館林）」の20.8%、「1. 1市1町」16.7%と続きます。

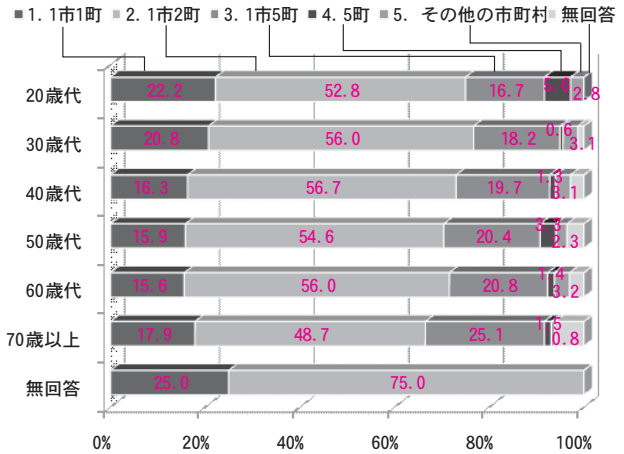
区分	男	女	未	合計	構成比
1. 1市1町 (板倉・館林)	187	119	4	310	16.7
2. 1市2町 (板倉・明和・館林)	710	297	7	1,014	54.7
3. 1市5町 (邑楽郡・館林)	293	90	2	385	20.8
4. 5町 (邑楽郡)	25	11	0	36	1.9
5. その他の市町村	38	9	1	48	2.6
無回答	42	19	1	62	3.3
合計	1,295	545	15	1,855	100



◆年代別でみた場合

すべての年代で、1市2町での合併と回答した割合が高い結果となりました。（単位：％）

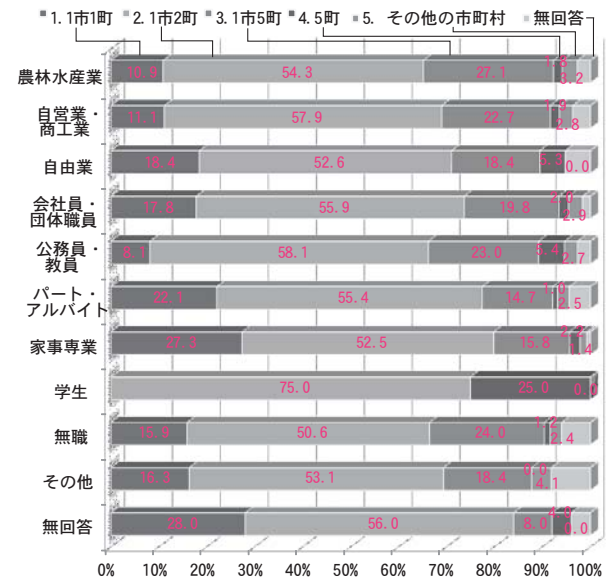
区分	1市1町	1市2町	1市5町	5町	その他	無回答
20歳代	22.2	52.8	16.7	5.6	2.8	0.0
30歳代	20.8	56.0	18.2	0.6	3.1	1.3
40歳代	16.3	56.7	19.7	1.3	3.1	2.8
50歳代	15.9	54.6	20.4	3.3	2.3	3.5
60歳代	15.6	56.0	20.8	1.4	3.2	3.0
70歳以上	17.9	48.7	25.1	1.5	0.8	6.1
無回答	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0



◆職業別でみた場合

やはりすべての職業で1市2町が高く、次いで1市5町、「パート・アルバイト」「家事専業」では1市1町の割合も高くなっています。（単位：％）

区分	1市1町	1市2町	1市5町	5町	その他	無回答
農林水産業	10.9	54.3	27.1	1.8	3.2	2.7
自営業・商工業	11.1	57.9	22.7	1.9	2.8	3.7
自由業	18.4	52.6	18.4	5.3	0.0	5.3
会社員・団体職員	17.8	55.9	19.8	2.0	2.9	1.6
公務員・教員	8.1	58.1	23.0	5.4	2.7	2.7
パート、アルバイト	22.1	55.4	14.7	1.0	2.5	4.4
家事専業	27.3	52.5	15.8	2.2	1.4	0.7
学生	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0
無職	15.9	50.6	24.0	1.2	2.4	6.0
その他	16.3	53.1	18.4	0.0	4.1	8.2
無回答	28.0	56.0	8.0	4.0	0.0	4.0



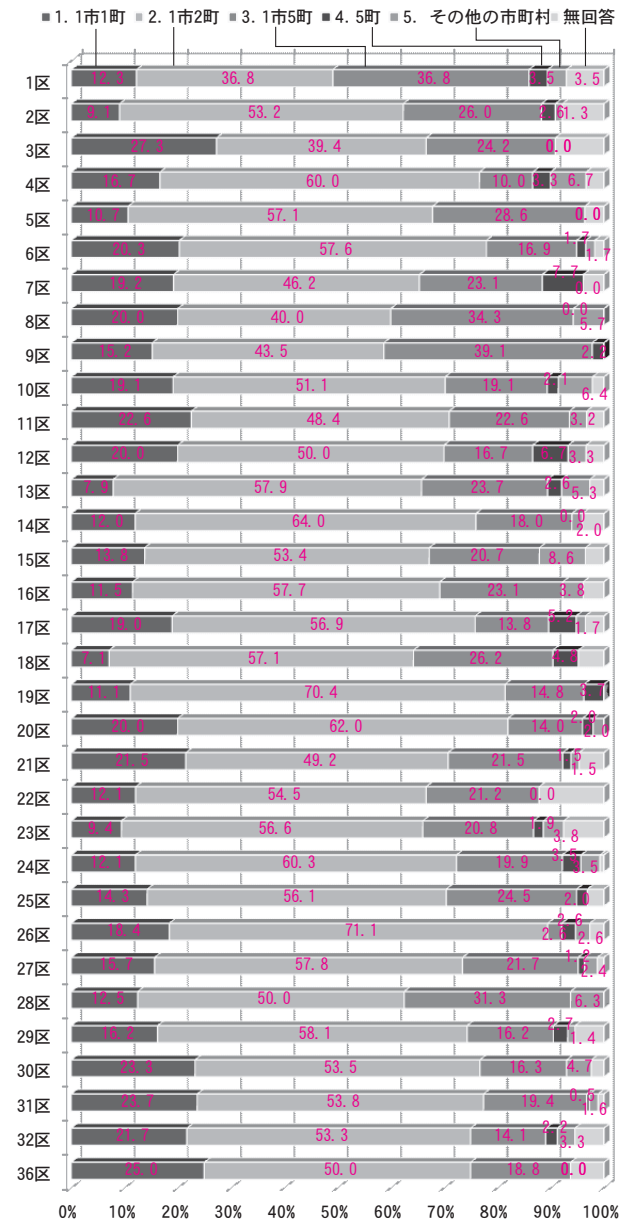


合併希望市町村

◆行政区別でみた場合

1区を除くすべての行政区で一番高かったのが、「1市2町」（第1区は1市2町と1市5町の割合が同じ）。また、「1市1町」の割合が2番目に高かった行政区が、3・4・6・12・17・20・26区とニュータウンの全地区、それ以外の行政区では「1市5町」が2番目に高い結果となりました。（単位：％）

区分	1市1町	1市2町	1市5町	5町	その他	無回答
1区	12.3	36.8	36.8	3.5	3.5	7.0
2区	9.1	53.2	26.0	2.6	1.3	7.8
3区	27.3	39.4	24.2	0.0	0.0	9.1
4区	16.7	60.0	10.0	3.3	6.7	3.3
5区	10.7	57.1	28.6	0.0	0.0	3.6
6区	20.3	57.6	16.9	1.7	1.7	1.7
7区	19.2	46.2	23.1	7.7	0.0	3.8
8区	20.0	40.0	34.3	0.0	5.7	0.0
9区	15.2	43.5	39.1	2.2	0.0	0.0
10区	19.1	51.1	19.1	2.1	6.4	2.1
11区	22.6	48.4	22.6	0.0	3.2	3.2
12区	20.0	50.0	16.7	6.7	3.3	3.3
13区	7.9	57.9	23.7	2.6	5.3	2.6
14区	12.0	64.0	18.0	0.0	2.0	4.0
15区	13.8	53.4	20.7	0.0	8.6	3.4
16区	11.5	57.7	23.1	0.0	3.8	3.8
17区	19.0	56.9	13.8	5.2	1.7	3.4
18区	7.1	57.1	26.2	4.8	0.0	4.8
19区	11.1	70.4	14.8	3.7	0.0	0.0
20区	20.0	62.0	14.0	2.0	2.0	0.0
21区	21.5	49.2	21.5	1.5	1.5	4.6
22区	12.1	54.5	21.2	0.0	0.0	12.1
23区	9.4	56.6	20.8	1.9	3.8	7.5
24区	12.1	60.3	19.9	3.5	3.5	0.7
25区	14.3	56.1	24.5	2.0	0.0	3.1
26区	18.4	71.1	2.6	2.6	2.6	2.6
27区	15.7	57.8	21.7	1.2	2.4	1.2
28区	12.5	50.0	31.3	0.0	6.3	0.0
29区	16.2	58.1	16.2	2.7	1.4	5.4
30区	23.3	53.5	16.3	0.0	4.7	2.3
31区	23.7	53.8	19.4	0.5	1.6	1.1
32区	21.7	53.3	14.1	2.2	3.3	5.4
36区	25.0	50.0	18.8	0.0	0.0	6.3



◆その他の意見 多く出されたものは、「1市4町（大泉町を除く）」での合併や「館林市邑楽郡に太田市を加えた合併」などでした。その他以下のような意見が出されました。

性別	意見
男性	県境を越えた合併「栃木市、小山市、加須市、古河市、館林市、明和町」
男性	合併できる市町村から順次拡大していく
男性	JA（農業協同組合）の合併と同じ市町村単位
女性	板倉町+明和町
男性	両毛地区、栃木、群馬市町合併
男性	加須市か栃木市